



石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議
第104回(今年度第8回) 2020年3月6日(金)14:00～ 於:市庁舎201会議室



1 議長挨拶

2 経過報告

2月20日 第103回連携会議

2月25日 予算要望委員会

3 協議題1 2019年度版「石狩市の学校間連携」について 最終確認

協議会2 各グループ反省集約に対する見解

～別冊1

4 実践交流 (今回は実施しません)

5 連絡事項

次年度の日程等は、協議会事務局と協議しています。後日、ご連絡させていただきます。

5月〇〇日(〇)第〇〇〇回連携会議～4月に各部構成が済んでいれば各部年間計画についての検討を行う予定ですので、各グループ代表の方は前任者引き継ぎ資料及び第97回連携会議議案を参考に年間活動計画案を作成しておいて下さい。

<協議題1> 2019年度版「石狩市の学校間連携」について ～最終確認～

すでに、前回会議で確認済みです。各種資料等のホームページへのアップ日を確認して、後日ホームページに掲載いたします。

☆ 配布先と配付方法等 ①教育委員会 ②校長会 ③教頭会 事務局にて対応します。

各学校でも、可能な限り回覧等の対応をお願いいたします。

<協議題2> 各グループ反省集約に対する見解・・・別紙

※1つのExcelファイルにまとめました。(シートごとに印刷願います)

会議が開催できないことから、紙面交流となります。各グループから補足等あればということで、コメントをいただいています。

①予算要望G

至らぬ点が多い中、今年度の活動への皆様のご協力に本当に感謝しています。

市教委との文書のやり取りのことなど、長年変わらなかったことでも事務職員だけではなく連携して取り組むことで改善されることがあるのだということを学びました。今後も、事務職員ならではの「気づき」をどう形にするのか、連携を大事にしながら取り組むことが大事なのではないでしょうか。次年度は今年度の反省を生かし、みんなで協力してさらに良い活動にしていけたらと思っています。1年間、ありがとうございました。

②研究G

令和元年度 研究グループ反省 補足

1. 令和元年度 研究G活動について

I. 今年度計画 学校事務職員としての専門性を生かした取り組みについて

研究 G1

イ. 今年度保護者負担の公費化項目の調査を行い、リストを作成しました。この取り組みについてどう感じましたか？

→『見解』に「なお、品目別の合計数や昨年度と今年度の数値の比較をお伝えするのが反省集約後になってしまい、申し訳ありませんでした。」とあります。これは7月5日の連携会議で配布・説明したものに加えたものです。

「2019年度 石狩市の学校間連携」PII「5. 資料」の「(1)「日刊連携会議」のページ」で「No.127 保護者負担公費化調査 改訂版」とあるように今後発行される予定です。遅くなり申し訳ありませんでした。

研究 G2

エ. PF シートの取り組みは3年目となりました。参考になりましたか？

→『見解』では結論づけていません。事務局と連携して方向性を検討していくことになると思います。

<終わりに>

力不足でしたが、みなさんのご協力により、何とか1年間務めることができました。

2次研究協議会レポート作成等に関わっては、事前に案をデータ送信し、目を通していただきました。また臨時連携会議の設定、ありがとうございます。

共同学校事務室や事務職員の働き方に関わることは、これからも事務局と連携しながら考えていきます。

今年度は研究推進委員（市町村代表）と研究グループ代表を分けました。研究G代表が大半を行う今までの形とは変わり、推進委員の細川さんには負担をかけてしまいました。次年度は人数の減少や人事異動などもあり、今年度の形を継続できるかは不明ですが、レポート作成や夏季・冬季研修会、その他の取り組みをグループ内で分担・協力する体制は大切にしていきたいと思います。

③調査研修 G

皆さまのご協力のおかげで一年間努めることができました。ありがとうございます。

反省の中の「備品台帳」の改訂についてですが、中学校には通知の文書が送られていないという事で、反省と一緒に文書を添付させていただきますようしく願います。

※添付ファイルあります。

最後に事務局より

各学校忙しいことと思います。そのような中で、先頭に立ち様々な場面で動いていただきました。各グループリーダーの皆様「お疲れ様」の声を掛けていただけると嬉しいです。

最後になりますが、無事に一年間の業務を終えることができました。市内全学校の事務職員の皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。